



八王子国際フレンドからのメッセージ



韓国

プロフィール

留学生

【朴 美兎 (パク ミア)】

韓国・京畿道出身

日本在住 3年目



日本での暮らしと母国の紹介



皆さん、はじめまして。韓国からの留学生の朴美兎（パク ミア）と申します。2年前に八王子にある大学の外国語学部に進入して、今年は私が日本に来て3年目になります。現在は同じ大学の大学院に進学し、言語文化交流を勉強しています。高校時代に日本語を習い始めてから日本が好きでずっと憧れていました。それで4年間続けていた社会人生活を後にして、日本への留学を決心しました。

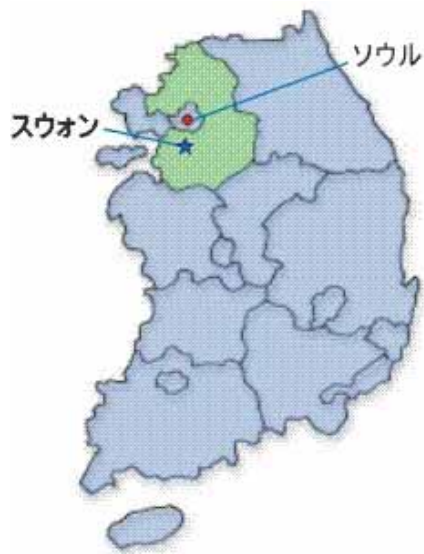
日本に来て最初の頃は日本語もうまく出来ず、慣れない生活に、毎日が戸惑いの連続でした。しかし、6ヶ月が過ぎた頃からは学校の生活や日本での生活にもすっかり慣れました。その頃からは、学校で知り合った友達ともさらに親しくなる事が出来ましたし、日本の居酒屋でアルバイトも始め、そこでもたくさんの友達を作ることができました。

時間を見付けては友達に会い、韓国語を教えたり、または日本語を教えてもらったりしました。お互いの言語を勉強する事により、相手の国についてより深く知ることが出来ました。そのようにしてできた友達とお互いの文化や習慣などについて話し合うことによって、他の国の人々も考え方や文化は違うものの、私と同じような感情を持っていることを実際に肌で感じる事が出来ました。

ときには、韓国の料理を作って、知り合いの日本人にご馳走したり、お正月やお盆、ひな祭りなど特別な日には日本の伝統的なお料理をご馳走してもらったりして、日本固有の文化を知る事が出来ました。学校の外で実際に日本人の生活に触れることこそ留学生にとって大切なことだと考えていますので、これからも様々な人々との触れ合いを大事にしながら、日本での生活を楽しんでいこうと思います。

それではここからは私の地元である水原（スウォン）について紹介したいと思います。実はス

ウォンは私の生まれ故郷ではないのですが、私が通った高校や勤めていた会社があるところで、馴染みも深く、とてもいいところですので、皆さんに紹介させていただくことにしました。まず最初は、スウォンについて全体的に説明したいと思います。



水原市は、朝鮮時代の第22代の正祖（チョンジョ）大王により造られた韓国初の計画都市で、韓国の首都ソウルの南46kmに位置しています。これは、東京の中心地から八王子までの距離と大体同じです。韓国の玄関口であるインチョン国際空港からもそれほど離れてなく、空港から直接リムジンバスで行くことができます。

現在の人口は、約103万人で、面積は、121.2平方キロメートルです。面積、人口ともに川崎市を少し小さくした感じです。スウォン市は、韓国の農業科学、先端電子産業、教育、文化芸術、交通の中心地であり、美しい自然とともに観光資源にも恵まれています。特に市中心部にある「華城（ファソン）」は最高の文化財という評価を受け、

世界文化遺産にも登録されています。



【華城（ファソン）】

また、お年寄りには不便である「階段」をできるだけ作らないようにしてあるので、水原はお年寄りにやさしい「孝の都市」と呼ばれています。しかも、街がとてもきれいで、特に所々にあるトイレがとてもきれいになっていて、韓国全体の模範とされています。

さらに、華城では国際演劇祭や華城文化祭、水原カルビ祭りなどの色々なイベントも行われ、毎年多くの人々で賑わいます。近郊には韓国民俗村、エバーランドなどがあり、これらの観光も合わせて楽しむ事もできます。

私は水原で生まれた訳ではないのですが、今となってはすっかり自分の故郷だと思うくらい好きになりました。次回からは様々な文化財がいっぱいあり、美しい街、水原についてもっと詳しく紹介していきたいと思います。

では、皆さん、今回はこの辺でさようなら。